

レコード軽術4.

No.43

2009
APRIL

特設会見

意識朦朧の小宇宙



没落3年
劇的ならぬ永田町

古田秀和 「之も楽しむ者に如かず」



とじ込み
今月の収録特典

カザルスホールを残そう！



保存案の一つ（イメージ）です



鳥山総務大臣・談

文化を大切にというならば、ここから手を付けねばならなかった。ピース・ピースと鳴いているのをつかまえて焼き鳥にして食べてしまうようなものだ。けしからん。

日本再興は音楽文化から



定額鑑賞券で
演奏会へ行こう！

財務省統括窓口

西松音楽事務所

意識朦朧の小宇宙

— 終わりのためのインタビュー —

中川一升さんは、音楽産業の財政一般の大本締めといっても過言ではないミュージック・ファンダメンタル・アソシエーションの会長をされている。昨今の経済問題でお忙しい中、時間を割いていただきお話を伺った。

— CD全体の売り上げの低落傾向が続いています。防ぐための方策はあるでしょうか。

中川 日本は「失われた十年」といわれた長期不況を抜け出し、ようやくと先が見えてきました。

— その中で音楽ソフトの売り上げの伸びは低落傾向を抜け出せません。

中川 あのー……100年に一度の経済危機ということ……オバマ大統領は金融支援政策を打ち出しました。

— アメリカ政府の政策がどうCDの売り上げに寄与するのでしょうか。

中川 100年前といえば、うー誰だっけ、メシアンが生まれた年だな。

——メシアン生誕100年は去年（08年）ですよ、それにフランス人ですね。オバマ大統領の政策とはどんな関係ですか。今年09年が記念日になる作曲家といえばメンデルスゾーンですが。

中川　メシアンといえばだな、この間の夜、昔よく行った店に行っただよ、30年もたってまだ池袋でやっていたのには驚いた。その頃まだ貧乏だった俺に出世払いだといって定食に一本付けてくれてな、「飯（めし）庵」とはこのことだと、食べながら店の女将に感謝していたものだ。

——あの、生誕200年のメンデルスゾーンはどうでしょうかとお訊きしたのですが。

中川　え、生誕100年は過ぎたのか。それは失礼。



——ですから、今年のCD界を盛り上げるにはメンデルスゾーンはいかがというわけです。

中川 メシアンの101年目でもいいじゃないか。メ、メ、・・・、うーん。101か。そうだ、キミ、アニメは見るかね。

——最近のはあまり知りませんが、ディズニーならよく見ました。

中川 「101匹わんちゃん大行進」というの知ってるかい？

——アニメは知りませんが、それをもとに制作された「101」という映画は見ました。

中川 そうか、さすがだ。「メシアン101」という企画はいいぞ。いこう。

——犬とどう結びつくのかさっぱりわかりませんが。

中川 犬だよ犬、あの品種はダルメシアン、作曲家より有名だぞ、これは。金と人はなくともアイデアで勝負、今年は「世の終わりのための四重奏」で決まりだ。

結局、話がかみ合わないまま時間が過ぎ、退席した。この様子だと中川さんとのインタビューはもうないだろう。この時代にあるながら、かくのごとき「終わりのためのインタビュー」をしたくないものだと思つづく思つた。





古田秀和

Hidekazu FURUTA

之も楽しむ者に如かず

そうならねばならぬか？

長く続いた花冷えがようやく終えそうだ。一気に春爛漫を思わせた10日前の陽気が嘘のよう。今度こそ春は一歩確かな足取りでやってくる。ほんの一時の暖かさで顔を出したり芽を吹いた気の早い虫や草木たちは待つことができたろうか。

人の一生はよく四季にたとえられる。未熟ながら希望を頼りに成長する春、成熟した能力を一杯に開く夏、実りの秋に成果を得、そして自らを回想し内省の中に閉じる冬。

生きている間に春夏秋冬を経験するにしても——合わせた時間がそれぞれ違うのはもちろんだが——ある人はほとんどを春の中で生き、ある人は短い夏の後一瞬の冬を経験して生を終える。人はそれぞれの四楽章を持って生きているようなものといえないだろうか。今回はベートーヴェン

の最後の弦楽四重奏曲であり、同時にベートーヴェンの実質的に最後の作品となったへ長調の弦楽四重奏曲を取り上げたい。

この曲はいろいろな面から議論されている。まず、すぐ前の作品に比肩し、いや、上回るほどの重く深遠な楽想(第三楽章)がある一方、他の部分は明るく透明でふっと肩の力が抜けたような楽想になっていることである。そして、いろいろな憶測を生む書き込み「そうならねばならぬか?」「そうなければならぬ」が第四楽章のページにある。



去年の秋だった。本誌の読者であることから長年のつきあいがあつたAさんの奥さんに街のCD店で出会つた。Aさんとともに何度もCDあさりに出かけたことがあるなじみの店だ。夫君のことをきくと、体調が悪く買い物に出られないので妻の私が代理に來たのだという。

そして、

「ベートーヴェンの弦楽四重奏曲が聴きたいというので、どれがいいかしら」

という。私は、たまたま店の棚の手近なところに置いてあつたこともあり、後期弦楽重奏曲のセットを示し、奨めた。そして、最後の作品にある書き込みのことなど、通り一遍の講釈をして別れた。

しばらくして、Aさんの奥さんから一通の手紙が來た。次のようなことが綴られていた。

先日は素晴らしいCDを選んでもいただき、どうもありがとうございます。主人は病に伏せる前はいわゆる企業戦士で、ベートーヴェンを聴くことがあつても交響曲など勇壮なものが中心でした。病氣になつてからもやりかけていたことに未練があつたのでしょうか、再起する日に向かっ

て相変わらず力強い曲を聴いていました、しかし、自分の病状に回復の見込みがないことを薄々察していたのでしょうか、やり残したことに未練が残るのか、口にご出さぬも哀れな思いは伝わってきました。

ところが、お奨めのCDを聴くようになりました、表情は日増しに柔和になり、未練を口にしなくなりしました。検査の数値も安定してきました。そして、

「こうならなければいけなかつたのだよ、この曲を教えてくださいありがとうございます」

とあなた様への感謝の言葉がありました。主人はその翌朝、これまでなかつたような安らかな顔で永眠しました。主人とは、決して深いお付き合いとはいえなかつたかも知れませんが、最後にこのような贈り物をしていただき、感謝に堪えません・・・

もし、Aさんに別の曲を奨めていたらもつと長生きされたかはわからない。強欲と無節操が世界経済をだめにしたあと、ふつと肩の力が抜けたような清明な世界は來るのか？経済学が専門だったAさんは天上からどんな道筋を見ていることだろうか。

新譜 月評

Apr 2009

4.1

交響曲 宇野咆吼
管弦楽曲 藤田由々
ビデオ 朝墓公三
録音評 三井住友

4月号新譜月評

■シューベルト交響曲第7番《未完成》

麻呆太郎指揮 永田町管弦楽団

■ベルリオーズ 序曲《海賊》ほか 駄母神

俊雄指揮 海上自衛隊音楽隊

■ロッシーニ 歌劇《泥棒カササギ》坂

野退治指揮 グリーンピア歌劇場 グリー
ンピア・フィルハーモニー

新譜月評

交響曲

宇野咆吼

新譜月評 The Record Keijutsu 交響曲

■ シューベルト…交響曲第7番《未完成》



麻呆太郎指揮 永田町
管絃楽団

永田町管絃楽団恒例の新譜である。あえて「恒例の」というわけは、本来なら

このCDは発売されないはずだったからだ。指揮者の麻呆は常任とはいえ短期の任務で終わることが前提で就任し、昨年秋には次の体制にて出発することを本人も周囲も了解していたのに、指揮者交代が延び延びになり、CDを出さないと格好が付かない事態になり、短時間の曲でもいいから録音しようということになったのだ。

コンサートは就任時から空席が目立っていたが、2ヶ月過ぎる頃から聴衆は「危険ライン」といわれる三割を下回り、一時一割を切る程までに落ち込んだ。そんな状況下、CDを出したら風穴が空くかも

知れない、永田町管絃楽団にはそんなものくろみもあるようだ。

団の意図に反して、演奏は粗雑。アンサンブルの破綻があちこちで起こっている。そもそも、この指揮者の統率力には疑問符が付いていたが、指揮者に就任するにあたって疑問は確信に変わっていった。「譜面が読めない」というのは、本人は単に振り間違えただけと逃げているが、上に立つ者として決定的な資質の欠如だろう。

それでも、楽員の共感があればアンサンブルの破綻は避けられようが、それも怪しい。ある団員の話だと、テンポの指示が毎回変わる。単に変更しただけと言っておけばいいのに、「初めからあのテンポ

には反対だった」と妙な理屈を付けて一貫性のない言い訳をするという。

そもそも、永田町管絃楽団の指揮者の選考が問題ではなからうか。TVのワイドショーによく取り上げられるとか、若者文化に理解がありそうとか、肝心のなすべきことをこなす能力にお構いなしに大衆、それもあり皮相的な現象に迎合して能力のない人間を祭り上げる。そんな大衆を見下した路線を何度もくり返していくうちにしつぺ返しはますます痛くなつて行くに違いない。

永田町管絃楽団のファンといえども、このCDを購入することが真に団のためになるのか胸に手を当てて考えるべきであらう。

新譜
月評
月評

管弦楽曲

藤田由々

新譜月評 The Record Keijutsu 管弦楽曲

■ベルリオーズ：序曲《海賊》ほか



海上指揮 俊雄神母駄
自衛隊音楽隊

標題の「海賊」はじめ有名序曲を吹奏楽用に編曲したアルバムである。原曲の

持ち味を残した編曲がある一方、新たな曲のように聞こえるものもあり、いずれにせよそれなりに楽しめる。このディスクの収益の一部はソマリア沖に海上警備に向かう海上自衛隊の家族に贈られる。

さて、自衛隊によるこのような企画があることをこのCDが出るまで知らなかった音楽ファンは多いのではないだろうか。国会では緊急経済対策の予算審議を進めるとか進めないとか堂々巡りのような議論が続けられている間にこの企画が進行していたとは、知らなかった。

もともと「海賊」は管弦楽作品で、はじめは別の名の序曲として発表され、作

曲者の何度かの改定を経て今日演奏されている形になった。「海賊」と名が付くまでは作曲者の意向が入っているわけだが、この吹奏楽版には作曲者の意向が反映されているかというところがかなり疑問だ。

弦楽器や木管楽器が受け持っていた部分が金管楽器に置き換えられたのは当然としても、打楽器の多いこと、なんともけばけかしい響きになった。

編曲してもベルリオーズ作曲といえる範囲はどのあたりだろうか。その一線を越えれば「ベルリオーズの主題による」とか、「海賊へのオマージュ」とか、別作品であることを表に出さねば作曲者への冒瀆となる。

すでに著作権が切れている作品に対し

ては自由に編曲してもかまわないわけだが、限られた人間のみが知るうちに突如公にされてはいかかなものかと思う。評論家がどう言おうと出してしまったほうが勝ち、というのは何かの意図があつてのことだと勘ぐられてもしかたない。

どんなに重装備になつても「海賊」は「海賊」の扱いでよいのか、序曲と銘打たれているが実は壮大な戦争オペラの開始のために書かれたのではないか、などなど、不安が尽きない。

演奏は指揮者の独特な個性が表に出たもので、かなり変則的な表現も多いがアンサンブルの質は高い。身内だけで固めた団体ならではの強みといえるだろう。

新譜月評

ビデオ

朝墓公三

新譜月評 The Record Keijutsu ビデオ

■ ロッシーニ：歌劇《泥棒カササギ》



坂野退治指揮 グリーン
ピア歌劇場 グリーンピ
ア・フィルハーモニー

都会のカラスはベランダに干してある洗濯物のハンガーなどを取ってきて巣を

作るのそうだが、そのようなことはロッシーニが活躍していた二〇〇年前にもあったのかもしれない。カササギのしたことで大騒動になった話をオペラにしたのがこの作品である。

舞台は貴族の館。銀のスプーンの数が必要なくなり、使用人が盗ったのではないかと疑われる。使用人の中でもニネツタは軍隊から逃げ帰った父親の安全のために所持品を売却した金を持っていたため犯人と決めつけられ、裁判にかけられる。ところが、ふとしたことからカササギの巣から盗まれたと思われる銀のスプーンははじめいろいろなものが出てき

て疑いは晴れ、全員ハッピーエンドで終わるといふ物語だ。

このオペラの序曲はよく演奏されるものの、ロッシーニのオペラの中では「セビリアの理髪師」に比べ演奏される機会は少ない。今回の上演とビデオ・ソフト化は大いに歓迎したい。

歌手も一線をそろえ、オーケストラは臨時編成ながらも一線の奏者を集めた編成だ。しかし、今ひとつ締まりにかけろ。多くのオーケストラが難なくこなす個所での飛び出しやリピート指示が浸透してないのではあるまいかと疑わされるミスが散見される。要するに、このオペラの上演すら日常の凡庸な仕事のひとつとして仕方なしにやっているように聞こえて

しまう。リハーサルの時間も労使協定などで少なくなっているのではあるまいか。

思えば、グリーンピアの前身は社会保険庁が年金保険料一九五三億円を投じて全国に作った保養施設であり、民間に譲渡された今でもいろいろなしがらみを引きずっている。そのグリーンピアが主導でこのような企画を立てたのでは、公演の質や採算をどれほど吟味したか疑わしくなってくる。

第一、なぜこのオペラを選んだのだろう。紛失した原因は自分たちの怠慢にあるのに、カササギのせいにし、最終的に出てきたからいいじゃないかとこのオペラを通じて訴えたいのなら、腹が立つ。

阪神オペラ野外コンサート

モーツァルト 歌劇 「ドン・ジョバンニ」

カーネル・サイザンス登場



「アッ、騎士長の亡霊だ！」

「悔い改めよ、悔い改めよ」

道頓堀・戎橋に繰り広げられるこの世のものならぬ世界

アンケートに答えて賞品をもらおう

あなたは何点？

答えてくださった方の中から抽選で本誌バック
ナンバー集（時価 12,000 円）を贈呈します。



1. リマスター版が出るとすぐ買いますか（20 点）。
2. 全集として安く出ると重複を承知で買い直しますか（30 点）。
3. LP 発売時の紙ジャケットによる再発売に郷愁をそそられて買い直したことがありますか（15 点）。
4. 重複盤は所蔵せず売りますか（10 点）。

もし 0 点だったら・・・

あなたは矜持（きょうじ）を大切にする人ですね。



もし満点だったら・・・

いや、本誌の読者にはそんな「さかしい」人はいないはず・・・



下の用紙の番号にチェックを入れ切り取ってハガキに貼ってお送り下さい。
締め切り後・本誌読者の「さもし度」の集計結果も発表します。

1
☐

2
☐

3
☐

4
☐

バックナンバー応募券

締め切り 2009.4.1

異色のオペラ歌手対談

朝青隆 VS 小沢太郎



朝 最近はステージでもご一緒することも少なく、こうしてお会いできるとうれしいです。
小 朝青隆さんはハマリ役がたくさんあってどれも好評、羨ましい限りです。

朝 何をおっしゃいますか、小沢さんこそ新境地を開拓され、こちらもうかうかしていられません。これまで小沢さんが演ずる役といったら、「魔笛」のザラストロとか、「トゥーランドット」のカラフとか、どちらかといえば強くて正義の味方みたいな役が多かったのに、今度は「トスカ」のスカルピアでしょ、いきなりの悪役にとまどった聴衆も多くいたのではありませんか？
小 いやあ、私の顔を見てごらんさいよ、田中先生（編注：名ドン・ジョバンニ歌いとして一世を風靡した故・田中角英氏）に師事していた頃は脇役でも汚れ役専門。その頃の経験が今でもしみこんで抜けません。

朝 そうですか、一頃「ニュー小沢」という

キャッチ・フレーズがあちこちで聞かれましたが、それは過去から脱皮したいという願いでもあったのでしょうか。意外でした。

小 だから、このところ「ニュー小沢」のためにずっと本性を隠してやっていた感じもなきにしもあらず、これも仕事だからしかたなかったのだけれど、久しぶりに悪役をやって何かホッとするところがあるんですよ。朝青さんは路線が決まっていますですね。

朝 楽なのかどうか自分ではわかりませんが、まあ、悪役をやる人一般にいえるのかもしれませんが、悪の権化みたいに常に存在感を持っていないといけない。気を抜けません。

小 でも、ソロ・リサیتالで叙情的な歌曲もよくなさるではないですか。

朝 なぜか評判よくないんですよ。ああいうリサیتالは。だって、私の顔が顔でしょ、オペラの「バラの騎士」でセクハラオヤジの象徴みたいな

オックスやった人が失恋の歌なんぞ歌えるはずない、ましてあの顔では、なんて感じているではない（笑）。

小 じゃあ、私と同じに本性を隠していることには変わらないんだ。

朝 そうかも知れませんが。それも仕事だし、ファンも付いて来てくれるので今は頑張ってます。けれど、現役を退いたら悪役も何もありません、今のうちに資金を貯めておいて、国に帰ったら政治の道に行ってもいいかなあ、なんて思うこともあるんです。

小 あちらでも悪役のイメージが浸透していますか？

朝 そうでもないですよ。

小 でも、もし朝青さん率いる団体の日本公演などが将来行われたら、日本の音楽界は悪役襲来で戦々恐々になること間違いなしですね。私も悪役で対抗しなきゃ。楽しみです、それは。

みなさんも音楽文化を支えてください

すでに報道などでご存じと思いますが、この五月から評論員制度が施行されます。音楽愛好家のみなさんが評論活動に参加することにより、音楽評論が身近で分かりやすいものとなり、音楽雑誌に対する音楽愛好家のみなさんの信頼の向上につながることを期待されています。

Q 仕事の内容は？

A 音楽評論家と演奏会に行き、演奏後に感想を述べ合うことにより公正かつ身近な感覚を持った評論が生まれるのを助けます。

Q どんな人が評論員になるのですか？

A ランダムに選ばれた人から所蔵CDなどのリストを提出していただき、曲や評論家の都合にあった人が選ばれます。選考過程は公開されませんが、嗜好傾向に偏りが多い人は選ばれません。

Q 守秘義務はありますか？

A 評論家の氏名およびその氏名が特定できるような雑誌の記事名・書籍名は公言すると罰せられます。

文化省 最高評論所

時代はハイブリッド

ディスク駆動のエネルギーを手回しゼンマイと太陽電池から供給。



究極の環境対応プレーヤへ はじめの一步

CD引換券

不要な CD をリサイクルにお持ちの方から抽選で上のプレーヤ進呈

オントモグループ **オントモ燃処理**株式会社

有効期限 2009.4.1



クラシック音楽を聴きながら

語らいと酒悦のひとつき

〒167-0054 杉並区松庵 3-38-3

ニューダイヤハイム B 1 南号

☎ 03-3334-4161 (日曜休み)



弦楽器 C D 専門 !

CD 高価買取

知人ぞ知るたまり場

ミッテンヴァルト

MITTENWALD

<http://homepage3.nifty.com/mittenwald/>



まずは

お見積もりを !!

連絡先
家内工業

bww140robota@jcom.home.ne.jp

編集後記

ここ半年間の大きな出来事といえば、金融危機とオバマ大統領誕生なのですが、パロディネタにするにはややタイミング遅し。一方では北の「衛星」予告日は発行の後と、微妙に前後してしまいました。

それ以外の出来事もうまく料理すれば面白くはできるもの。いかがでしょうか。

バックナンバーのハイライト、真面目なエッセイなどを

http://members2.jcom.home.ne.jp/s_yanagawa/
で見ることができます。

レコード軽術 '09 年春号（通巻第 43 号）

2009.4.1 第 1 刷発行

編集発行人 柳川誠介

〒195-0054 町田市三輪町 539-119

TEL&FAX (044) 989-8510

s_yanagawa@jcom.home.ne.jp

印刷・製本 家内工業

